



平成18年11月21日
 編集：千代田区議会広報広聴特別委員会
 発行：千代田区議会
 〒102-8688 千代田区九段南1-6-11
 ☎3264-2111 内線3315
 ファクシミリ 3288-5920

No. 183



<QRコード>

第3回 定例区議会

デジタル写真館 区内の風景写真を募集



行幸通り

ホームページアドレス
<http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>
 メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

*この区議会だよりは、区議会Webサイト(ホームページ)でもご覧になれます。区議会Webサイト(ホームページ)では、「区議会の日程」や「キッズページ」などを掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。

「平成17年度各会計歳入歳出決算」を慎重審査のうえ認定!

学校施設等の「耐震補強工事」を含む補正予算を全員一致で可決!



札幌市屯田北児童会館：通称「屯珍館」で、パソコンに興じる子どもたち

札幌市は、平成17年に地域の子どもたちから委員を公募し「児童会館建設子ども検討委員会」を発足しました。
 この検討委員会では、幼児から高校生まで幅広い年齢の子どもたちが楽しく、安全に利用できるようにアイデアを出し合い、市長に提案した結果、多くの要望が取り入れられました。中でもアンケートで最も人気が高かったパソコンコーナーや映画コーナーなどが設

その名は「とんちんかん」!!

「保健福祉文教委員会の行政視察から」

置されました。また、施設の愛称についても、子どもたちのアンケートで「屯田にある珍しい児童会館」という意味から「屯珍館(とんちんかん)」と名付けられ平成18年3月にオープンしました。施設の整備にあたり子ども視点に立った事業展開が、施設側の数値予想をはるかに超える子どもたちの利用につながっているとのことで、本区の児童施設等の整備に関し大いに参考になりました。

第3回 定例区議会

平成18年第3回定例区議会は、9月22日から10月17日まで26日の会期で開催しました。初日の22日は、区長の議会招集あいさつ後、このたびの「悠仁親王殿下」ご誕生をお祝いする賀詞を議決しました。また、議員提出議案「米国政府が実施した臨界前核実験に対する抗議」など2件を可決しました。

27、28日の継続会は、3会派の代表質問と9名の議員が一般質問を行いました。また、区長から提案された議案のうち、追加提案の3件を含む16件を担当する各常任委員会に、補正予算2件と決算の認定は「予算・決算特別委員会」を設置し審査を付託しました。その他に3件の報告を受けました。
 29日の継続会は「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」など2議案を可決しました。

10月10日の継続会は、各常任委員会で審査を終えた「平成18年度千代田区一般会計補正予算第2号」など16議案と議員提出議案「北朝鮮が実施した核実験を非難する決議」を可決しました。

最終日の17日の継続会は、「平成17年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」及び議員提出議案「貸金業制度の見直しを求める意見書」など3件の議案を可決し、第3回定例区議会が閉会しました。

代表質問	2面
一般質問	3・4面
定例区議会活動報告など	5・6・7面
今定例区議会でも可決した意見書など	7面
委員会視察の概要など	8面
議案の審議結果など	9面
アンケート結果・編集後記など	10面
区長提出案件等	
条例	14件
予算・決算	3件
報告等	5件
議員提出議案	
賀詞・意見書等	6件

*審査内容の要旨や議決の詳細は本文に掲載しています。

代表質問

(平成18年第3回定例区議会)

(要旨)

自由民主党議員団

桜井 ただし

少子高齢化時代における福祉関連施策について

問 ①旧番町出張所跡地を活用した高齢者小規模多機能施設の整備について②麴町保育園建て替えにあたっては、周辺住民等への十分な説明と協議が必要と考えるが、仮園舎の対応及び運営方法等についての区の見解は③障害者自立支援法の施行による諸課題と(仮称)障害者福祉センターの整備状況について④(仮称)高齢者総合サポートセンターの整備状況について⑤立地が良く福祉施設にも活用できる旧東京区政会館別館の取得について、区長の考えを問う。

答 ①(仮称)「施設整備検討会」を立ち上げ施設の整備を行っていく②仮園舎は三番町土木詰所を候補地とし、新園の運営方法は関係者、保護者と十分に協議を進め、社会福祉法人など民営化を目指す③審査会による判定を本年4月から開始し10月に区分ごとのサービスを実施するが、国の基準に上乘せし区独自の支給基準を策定した。施設の整備は障害者の地域生活を支援するために積極的に進める④施設規模、運営形態、整備手法及び建設地について検討している⑤特別区協議会と売却の条件等を協議していく。

新庁舎の進捗状況について

問 区民のための施設とサービスが一体で運営されてこそ末永く区民に愛される庁舎となる。「総合窓口」などの開設準備状況と見通しはどのようになっているのか。

答 平成19年5月の開設に向け順調に進んでいる。「総合窓口」など新サービス開始に向け予定を前倒しし、対応する窓口職員を中心に事務内容、接客等を検討している。

指定管理者制度の成果について

問 ①指定管理者制度の成果と課題についてどう認識しているのか②民営化された箱根千代田荘は民間ならではの企画で喜ばれている反面、家族の利用が減ったと聞く。現状の把握と料金体系の検討が肝要と考えるがどうか。

答 ①民間と行政が協働で区民サービスを提供する仕組みが必要。モニタリングを通じ施設の課題について区と事業者が共通認識を持ちサービス向上を図る②今後、家族と同行しやすい方法を区民福祉の観点から検討していく。

日本共産党区議員団

飯島 和子

格差社会を拡大した小泉構造改革の中で区政の対応は?

問 ①企業の効率化や成果主義によって賃金抑制や非正規雇用化が行われたことが少子化の一因となっているが①区長が次世代育成シンポジウムで述べた「働き方を変える運動」はどう具体化されたのか②非常勤職員の待遇改善や正規職員の計画的な採用など、格差社会是正への手本となる行動をとるべきではないか。

答 ②公共住宅建設の要望が多い中で①住宅建設を事実上民間に委ねて住宅確保に責任が持てるのか②公共住宅を建設すべきではないか。

問 ①中小企業事業主の「仕事と育児の両立できる職場の環境づくり」に向けて助成金や奨励金でサポートする制度を既に創設した②区が事業主として十分に対応している。職員採用は計画的に行なっていく。

答 ①①中小企業事業主の「仕事と育児の両立できる職場の環境づくり」に向けて助成金や奨励金でサポートする制度を既に創設した②区が事業主として十分に対応している。職員採用は計画的に行なっていく。

高齢者、障がい者、子育て世代の切実な声に答える緊急課題について

問 ①高齢者に関して①介護保険の激変緩和措置が来年3月に終了する。そこで、施設入所者へのホテルコスト助成制度創設を求める②(仮称)高齢者総合サポートセンター建設計画について規模や手法などを問う。

答 ①①介護保険の激変緩和措置が来年3月に終了する。そこで、施設入所者へのホテルコスト助成制度創設を求める②(仮称)高齢者総合サポートセンター建設計画について規模や手法などを問う。②障がいを持つ方について①障害者自立支援法の資産要件は利用者の実態を踏まえるべき②認定制度導入でサービス後退はないのか③(仮称)障害者福祉センターの整備状況を問う④基本構想に利用者や家族などの要望を反映すべき。③子育てに関連して①安心して出産できる場所の確保と東京通信病院の産科存続の働きかけを求める②子どものインフルエンザ予防接種助成を求める。

問 ①負担の公平性確保や、制度の安定的維持のため、新たな助成創設は考えていない②現在検討中である。②①国の基準で対応する③国基準の利用量に区独自の上乗せを策定した④緊急の課題として認識している⑤利用者の意見を聴取し、必要な機能を検討する。③①区内の産科は充足している。医療機関の内情による廃止への対応は困難である②任意接種のため困難である。

公明党議員団

大串 ひろやす

「子ども優先の社会」を目指して

問 「子ども優先の社会」とは、子どもの本来持っている能力や可能性を見出し育むことができる機会が、すべての子どもにも保障されていること、つまり「子どもの機会の平等」である。また、子どもを主体とした子どもの視点が行き届いている社会である。そして、それはすべての人に優しい社会でもある。そこで①区長に「子ども優先の社会」の実現に向けて基本的な考え方を問う。

答 ②格差が広がっている中、区として「子どもの機会の平等」をいかに保障していくのか。以下、3つの具体的な事業について問う①「子どもの居場所づくり」は、現在、学校や児童館で行われているが、そこに専門的な人材を配置してはどうか②子どもたちが芸術に触れる機会を提供するアーティスト・イン・スクールの今日までの成果と今後のあり方は③国が来年度から予定していると示した「放課後子どもプラン」を、区はどう考えているのか。

問 ③子ども施策全般を子どもの視点から体系的に推進し、チェックする機関として、次世代育成推進会議が担っていくとのことだが現状と今後のあり方は。

答 ①今世紀において、子どもたちがうつむいたり、肩を落とした姿を見たくない。子どもたちの目が輝き、声が弾む社会。まちを築いていきたい②家庭、学校、行政、地域は、子どもの持っている力を伸ばす機会を与えていく必要がある③学校教育では、地域や外部の専門家からさまざまな指導を受け、各学校の特色となっている。また、児童館では特技などを持った地域のボランティアの方々から指導を得て、学びの機会の確保に努めており、今後とも充実を図っていく④自由で柔軟な発想を持つアーティストたちと過ごす時間は子どもたちに良い刺激を与えている。今後さまざまな分野のアーティストを派遣していく⑤本区が進めている「アフタースクールすきっぷ事業」と基本的な考えが一致しており、体験学習を拡充するなど教育委員会と協力し、具体的に検討していく③各部に設置した次世代育成支援担当の横断組織の実現や、チャイルド・ケア・プランナーの配置など具体化しているが、今後は子ども視点で事業をチェックする機会も検討する。

一般質問

(要旨)

(平成18年第3回定例会議会)

ちよだの声 小枝 すみ子

千代田区の公共建築設計への公募制 プロポーザルと顕名制度の採用について

問 日本近代建築発祥の地でもある本区が、公共建築の文化性を発信するには、新進気鋭の若手建築家にも門戸を開くような公募制プロポーザルを採用してはどうか。

また、建築物自体にその建築家の名を刻み建物の歴史に責任を持つ「顕名制度」を本区の公共建築に取り入れてはどうか。

答 手続き開始の公表や方法を整備し、より透明性・公平性の確保を図り、また、「建築文化の発信」、「千代田区らしいまちづくり」を踏まえ、プロポーザル方式による施設設計を推進する。顕名制度については効果等を研究していく。

神田川水上バスと親水公園の実現について

問 日本橋ブームの影響やEM菌散布による、日本橋川浄化の取り組みなど、昨今、水辺の復元に対する区民の期待も高まっている。数年前「なにわ探検クルーズ」のツアーに参加し、川による観光が大きな魅力になると感じた。神田川・日本橋川1周の水上バスの航行は難しいが、秋葉原から飯田橋までは、低い橋も少なく可能ではないか。また、お茶の水、飯田橋間の護岸は緑や景観も良いので、親水公園を整備することはできないか。

答 水上バスは、アクセス方法や運行ルート等に課題が多いため、現在、具体的な動きはない。親水公園の整備については、階段の設置場所や散策路の確保による河川幅の影響などに問題があり検討が必要である。



いずみこども園

自由民主党議員団 松本 佳子

次世代育成支援事業「子育てナビゲーター」 設置の実態と課題について

問 ①「子育てナビゲーター」の現状と、これからの方向性や活用方法について問う
②次世代育成支援事業は、子育てや教育の他各課にまたがるが、このことに関する確・適切に対応する「子育てナビゲーター」には、どのような資格の人が仕事に就くのか
③次世代育成支援で大きなウエイトを占める教育支援をどう指導しているのか、内容や実態を問う。

答 ①子育て情報に関する一元的な窓口として、「チャイルド・ケア・プランナー」と称して児童・家庭支援センターに配置し、家庭生活全般の総合コーディネーターとしてプランニングを行う
②子育て支援センター相談員としての経験者を雇用した
③保護者をサポートすることが役割と認識し、学校教育では、自己の良さを伸ばすように自然や感動の体験を実践し、今後もNPOなど外部活力の積極的な協力を得て豊かな感性を培っていく。

若い世代が生まれ育ち住み続けられる町にするための ファミリータイプマンションの導入について

問 20代から40代の子育て世代が生まれ育つた町で住み続けられるためのファミリータイプマンションが必要と考えるが、これまでの施策展開と今後の取り組みを問う。

答 ワンルームマンションの指導要綱の見直しを図るとともに、「子育てファミリー世帯等親元近居助成」など実施してきた。今後は、区民が住む条件が前提のマンション建設にも助成できるように図っていきたい。

ちよだの声 寺沢 文子

食を通して生涯健康な生活を送るために 食育基本法をうけて

問 2005年に「食育基本法」が施行され、食育の国民運動化に向け自治体の取り組みが求められる中、区も5カ年の「千代田区食育推進計画」を進めるとのことだが①文部科学省の基本計画では「栄養教諭の早期配置が必

要」としているが、区は東京都に小中学校への栄養教諭配置を要請するのか
②農業や漁業の現状を知り、食を見直す見地から山村留学についての情報を提供してはどうか
③食品の安全性や家庭料理の伝承など、子育て世代の保護者に食と健康に関する意識の啓発をしてはどうか
④食物の循環を実感させるため、給食の残渣を有効活用してはどうか
⑤今後、大量の退職者が予測される団塊世代へ向けた食の知識や実践の場の情報提供について、区はどのように考えているのか。

答 ①各校の栄養職員と、学級担任や養護教諭らの連携で十分その役割を果たすことができる
②自然体験の重要性を認識し、移動教室などの活動の充実を努めている。山村留学の情報も収集し、提供していきたい
③食の充実は保護者の理解・協力なくして得られないため、「千代田区食育推進計画」に位置付けて、その充実に努めていく
④協力農家で利用されているが、本区の学校給食には循環されてはいない。婦孺自然体験交流での野菜作りを通して理解できると考える
⑤きめ細かな情報を提供することで、家庭や地域のコミュニケーションづくりや食による健康づくりにも役立つものと考えている。

自由民主党議員団 林 則行

若い世代にも誕生月健診を受けさせて

問 ①40歳以上の区民は毎年誕生月に健康診断の機会があるが、対象年齢の根拠は何か
②若年節健康診査の受診率が低い理由は何か
③15〜40歳の間は若年節健康診査が5年毎なので機会を逃しやすい。本区独自の誕生月健診を実施できないか
④信頼できる「かかりつけ医」を見つけないための対策は何か
⑤成人歯科健診の対象が30歳以上の根拠は何か。

答 ①老人保健法に定める基本健康診査に相応し、その対象が40歳以上であるため
②該当者の多くが就労し、事業者が実施する定期健康診断を受診していると推測する
③引き続き若年節健康診査を実施するほか、健康相談など自己管理活動を支援する
④患者と医師の信頼関係が大切。地域医療の最新情報を広く周知する
⑤老人保健法の基準は40歳以上だが、区独自に30歳以上に拡充し実施している。

今後のアライアンス(戦略的統合)について

今後のアライアンス(戦略的統合)について

問 本区のアライアンスについての認識を問う。例えば、総合ホームページは各事業部でページレイアウトが異なり一体感がなく、区民にとって理解しづらい。今後、総合ホームページをアライアンスする考えはないのか。

答 本区は、スモール・イズ・ビューティフルだと考えるが、今後、それぞれの仕事を共同処理する方向はあると思う。総合ホームページは、区民から使い難いとの指摘が多い。新庁舎の総合窓口設置に合わせ、サービスクラスが検索できる機能を付加する。これを契機にページデザイン等を統合する予定である。



いずみこども園

日本共産党区議員団 木村 正明

社会教育施設の 指定管理者制度導入について

問 区立図書館の指定管理者の指定にあたり①司書ほどの程度配置するのか
②区が設置する図書館評議会のメンバーに住民や図書館利用者は参加できるのか。また、指定管理者の評価基準は誰が決めるのか
③サービスの有料化の範囲及び図書館利用者の負担割合は誰が決めるのか。

答 ①司書資格を持った職員の数確保は確保する
②図書館評議会には、住民や図書館利用者の参加も予定している。また、指定管理者の評価内容や基準等は、事前に区と指定管理者が協議して決定する
③指定管理者と区が十分協議して決定していく。

一般質問

(要旨)

(平成18年第3回定例区議会)

住環境をどうにかするか

問 住民のまちづくり権を考えた場合に、周辺住民の合意を開発事業者に義務付け、まちづくりの専門家を派遣して住民に助言するなどの新制度を制定すべきではないか。

答 少数住民を切り捨てた開発計画の進行や紛争の長期化、深刻化を助長する事も予想され、現時点では困難である。

新庁舎建設について

問 新庁舎にノンテリトリアル(オフィス内)のデスク等を個人に割り当てずに共同使用する制度を導入して住民サービスは向上するののか。

答 縦割り組織の解消や情報の共有化が徹底され、来庁者の目的に応じた接遇ができるなど、区民サービスに広く貢献できる。



いずみこども園

日本共産党区議団

鈴木栄一

行政改革問題について

問 ①(略称)行政改革推進法について区長の見解を問う②いわゆる市場化テスト法の窓口業務民間開放でプライバシー保護に問題はないのか③区は国の行革の先導役として同じ方向に進むのか④区長が自治のあり方検討部会へ行った諮問を問う。

答 ①地方への大幅な権限委譲を基本とすべきと考える②公証行為は地方公共団体に留保されておりプライバシーは保たれる③自主・自立の行政運営を目指す④都心部の自治体としての考え方を持つことが必要である。

2007年度の予算編成方針について

問 ①三位一体改革について区長の見解を問う②改革による減収について区民にもっと情報提供すべき③住民税フラット化や定率減税廃止で負担増が予想される、保育料や国民健康保険料への対応を問う。

答 ①内容が不十分であり評価できない②適宜適切に情報提供していく③施策に反映できるように十分な検証を行なう。

東京二十三区清掃事業問題について

問 東京二十三区清掃一部事務組合の廃プラスチック焼却の決定については3区が反対をしている。このような状況で共同事業を行なうことは困難だと思いが、区はどのように考えているののか。

答 本区は区内に清掃工場を持っていないという状況にあるが、強い問題意識を持って議論を行なっている。

ちよだの声

小林 たかや

まちづくりを進めるにあたって千代田区の総合調整者の立場と役割について

問 ①アキバのブリッジやデッキの歩行環境の総合調整者としての役割を果たしたのか。今後の対処について区の見解を問う②新庁舎に千代田区全体の500分の1の立体模型の設置や、コンピュータシミュレーションによるまちづくり手法を取り入れてはどうか。

答 ①秋葉原の開発は、東京都の区画整理事業として大枠が決まっていた。そのため、公共駐車場や歩行者動線などの課題を東京都や事業者、JR秋葉原駅との間で、できる限りの総合調整を行ってきたが、風害については、実験と現実の違いを実感し、今後の対応には最善策を講じていく②多額の費用とスペースが必要となるが要望として受け止める。

パレットの管理とサポートについて

問 ①学校で個人情報流出の可能性があった事態をどう認識し対応・対処したのか

か②学校や幼稚園、指定管理者などのパソコンの管理・サポート体制は確立しているのか③区民のパソコンサポート窓口を設置すべき。

答 ①重大な問題と認識し、服務規定やデータ管理の指導を徹底した。さらに情報管理やセキュリティ確保を図った②学校等には有線LAN使用やインターネットは接続しない。指定管理者は個人情報漏洩等の事故防止等を協定書に明記し、モニタリング検証するなどの体制を取る③区民が直接メーカーに相談する方が的確に解決できると認識する。

公明党議員団

山田 ながひで

お茶の水、飯田橋駅周辺整備の民間活力による新手法導入について

問 区は本年6月に神田駿河台地域及び飯田橋・富士見地域における「地域まちづくり基本構想」を策定し、個性的で多様なまちづくりは地域住民、就業者、事業者等の多様な人々、主体がそれぞれの地域の将来像を共有し地域の連携・協働によるまちづくりを進めることで実現するとしている。その手法として欧米流ともいわれる推進体制を設定した。そこで、構想の意図、目的及び推進体制の役割など基本的な考えを問う。

8月に策定した地域まちづくりの推進体制は、民間活力でプラン、コーディネートから資金調達まで総合的にマネジメントする体制の構築を目指すとしているが①業者に求められているものは何か②事業者の地域貢献と役割分担のルールづくりは事前に明確化が必要ではないか③地域特性や住民の意見等の反映や事業者、住民、行政等の連携はどのように行なうのか④契約期限が切れる平成19年3月31日以降の対応はどうするのか⑤これらの手法を他地域への活用を検討すべきではないか。

答 まちづくりは駅前の公共空間など開発プロジェクトや動線のイメージを持ちコーディネートすべきと考える①都市計画から事業経営など多様な専門性と高度な調整力が必要②地域の協議により地域全体のルールとして明確化する③まちづくり協議会が主体となり構想案の決定に基づき調整する④一定の時

点で検証し妥当であれば契約更新する⑤両地域の取り組みの成果を検証し対応していく。

自由民主党議員団

小林 やすお

区内3交番の整理統合について

問 警視庁が、空き交番の整理統合を決定し、本区でも竹橋、永田町及び末広町交番の計3カ所が対象になった。アダルト系DVD販売店などが多くある外神田三丁目、同じ三丁目に末広町交番があることで、児童の保護者に安心感を与えてきた。末広町交番の存続を願う声も数多くあり、この交番を空き交番ではなく、区が管理し警察官も立ち寄るなど人が常駐する交番にすべきではないか。

答 交番施設をこれまでどおり残し、交番連絡員の常時配置や地域防犯パトロール等の拠点施設として活かせるよう地元警察署と連携して警視庁に要望していく。

アレルギー対応の長期保存備蓄食糧について

問 災害時に、避難所で配付する病人食やアレルギー対応食品は備蓄されているののか。

答 高齢者や乳児に配慮したお粥や粉ミルクを備蓄している。今後も病人対応の減塩食やアレルギー対応食を配備する。

幼児施設の小児対応AEDの配備について

問 小児用AED電極パッドが認可され、幼児施設にもAED設置が可能となった。既に設置済の施設にも、小児用AED電極パッドを配備することで子ども、大人の区別なく使用が可能になった。そこで、新たにAEDの追加設置と小児用電極パッドの配備を行うべきではないか。

答 保育園等の施設への設置を含めて必要性や妥当性を勘案し適切に対応する。



いずみこども園

定例区議会活動報告

常任委員会

常任委員会では16件の議案を担当の委員会で審査しました。主な議案の審査経過をご紹介します。

企画総務委員会

「千代田区議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」、「千代田区の行政委員会委員並びに非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」及び「千代田区長及び助役の給与及び旅費条例の一部を改正する条例」の3議案は、特別職報酬等審議会答申に基づき、区議会議員の報酬及び区長・助役の給料月額を約1%引き下げ、行政委員会委員及び非常勤の監査委員の報酬についても同程度の引き下げを行うものです。

審査経過

質疑の中で、特別職の報酬は職ごとの性格を踏まえ個別に判断すべきではないか、また、審議会への諮問の仕方を検討すべきではないか、といった委員会での指摘を踏まえ、区としては諮問する内容や審議会の進め方など、報酬額の決定のあり方について、今後、検討していくことが明らかになりました。

「千代田区長等の地域手当及び退職手当の特例に関する条例」は、区長、助役及び教育長の地域手当及び退職手当を、条例の規定額より引き下げる特例を設けるものです。地域手当は、現行の「給料月額の100分の12」を「100分の6」に、退職手当は区長が10%、助役及び教育長は5%減額するものです。

審査経過

質疑の中で、本案は、行財政改革に取り組みりうりダとしての意気込み、姿勢を示すために提案されたことが明らかになりました。

「高所カメラシステムの購入について」は、

大規模災害が発生した直後の情報収集手段として有効な「高所カメラシステム」一式を購入し、新庁舎の通信塔最上部に設置するために議会の議決を求めるとのことです。指名競争入札による契約で、相手方はパナソニックSSマーケティング(株)、金額は3,465万円となっています。

審査経過

質疑の中で、カメラの運用については、要綱により、運用管理者の設置や情報セキュリティ、プライバシー保護を規定していくことが明らかになりました。

反対の意見

区が設置する必要性とカメラの情報を警察等と共有することは、プライバシー保護を考えた場合に不安が残るので反対する。(鈴木)

賛成の意見

区内在住職員が少ない中、災害時に高所カメラは有効であると考えます。併せて、プライバシー保護を要望し賛成する。(小山)

保健福祉文教委員会

「千代田区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」は、ひとり親家庭等に対し、区では医療費自己負担額を助成しているが、今回の国民健康保険法等の改正で、居住費相当額の自己負担も加えられたため規定を整備するものです。平成18年10月1日から施行します。

審査経過

質疑の中で、生活保護を受けている人などは、この制度の対象とはならないことなどが明らかになりました。

反対の意見

経済的基盤の弱い低所得者の新たな負担は、区独自で軽減策を盛り込んでいくべきだと思うので反対する。(木村)

賛成の意見

従前から、食事・居住にかかる費用等は、在宅時でも入院時でも本人が負担すべきものであり、公平性の観点から賛成する。(高山)

「千代田区立図書館の指定管理者の指定について」は、区立図書館指定管理者候補者選定委員会で選定された団体を、平成19年4月から区立図書館の管理を行わせるため指定するものです。

審査経過

質疑の中で、図書館サービスを行なう指定管理者の職員労働条件等は、今後の協定締結交渉などの中で、十分に確認し、担保していくことなどが明らかになりました。

反対の意見

図書館の管理運営は、区民等利用者の声を反映する図書館評議会はあるが、指定管理者の専門性、労働条件などの不安から、サービスの質に対する懸念があり反対する。(木村)

賛成の意見

行政サービスでは対応できない地元出版文化の発信や、本を通して知識を広める広報活動など当該指定管理者に十分期待できるとから賛成する。(高山)



いずみこども園

区民生活環境委員会

「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、70歳以上で現役並みの所得を有する方の自己負担割合を2割から3割に改定し、療養病床への入院時食費負担額の見直しと、新たに居住費相当額の負担を求めるとのことです。一方で「入院時生活療養費」を保険で給付するという内容です。

審査経過

質疑の中で、自己負担が3割になる70歳以上の方は374名。そのうち、税制改正により1割負担から3割負担になる方は75名で、2年間の経過措置を設けてあることなどが明らかになりました。

反対の意見

所得の設定は高額とは言えず、病気にかかりやすい高齢者にとって負担は大きく、反対する。(飯島)

賛成の意見

高齢者は若年者に比べて医療費等出費が多い。現役並み所得で収入基準を設定することについて反対する。(寺沢)

賛成の意見

保険制度を堅持していく必要性を認識し、また、低所得者対策として経過措置も講じられていることから賛成する。(河合)

反対の意見

「千代田区民保養施設条例」は、湯河原千代田荘の効率的な運営などを目的に、指定管理者に管理運営を行わせるため、現行条例を改正するものです。

審査経過

質疑の中で、申込みは区民を優先し、現地でもできることや、区民は、従来同様の料金で利用できるよう補助することなどが明らかになりました。

反対の意見

箱根千代田荘のように気軽に利用できなくなったり、事業者が安定した運営を行えるかという点で不安があり反対する。(飯島)

賛成の意見

民間事業者のノウハウを活用し、区民サービスが向上して、これまで以上に親しまれる施設となることを期待し賛成する。(河合)

「千代田区立九段生涯学習館条例」は、より幅広い生涯学習を振興するための施設として位置づけ、指定管理者が管理運営を行えるように条例を新たに制定するものです。

【審査経過】

質疑の中で、民間事業者のサービス向上策は、開館時間の延長等に加え、地域・社会貢献の視点を取り入れることや、リーダーの育成等の継続性にも配慮していくこと、また、個人・団体ともに現在と同料金で利用できることなどが明らかになりました。

【討論】

【反対の意見】

生涯学習を指導・助言・育成する専門性と継続性に懸念があり、反対する。(飯島)

【賛成の意見】

サービスが向上し、合理的な管理運営が期待できるため賛成する。(久門)

区が直接行ってきた事業の継続性や、人材育成を行うことを要望し賛成する。(小枝)



いずみこども園

【特別委員会】

【観光施策推進特別委員会】

「千代田区観光ビジョン」策定に向けて検討するための案が示され、担当課長から報告を受けました。

案では、本区の観光を考える上で、「千代田の歴史や文化が、多様な人々や文化が交流し、共生しながら、磨きあげ、形づくられてきたという視点を忘れてはならない」としています。また、全国の市町村との交流や連携による「産業観光」や「アンテナショップの展開」など、「共生」や「交流と創造」をキーワードにした新たな施策が提案され

ています。

観光に関する取り組みは、区が施策を進めるだけでなく、民間企業や地域のさまざまな方々の取り組みが不可欠ですが、個々がばらばらに取り組みではなく、進むべき方向を定め、共通認識をもつて取り組みを進めることが重要です。

この「観光ビジョン」は、そのための指針となるものです。

今後、これまでの論議を踏まえた「観光ビジョン」の新たな案が示され、年内には策定される予定となっています。

【まちづくり特別委員会】

当委員会に送付された①「東北縦貫線整備事業計画をはじめとする区内JR駅及び駅周辺整備に関する陳情」②「東日本旅客鉄道株式会社による東北三線の東京駅乗り入れに伴う新幹線重層化工事計画の白紙撤回を求める陳情」③「東北縦貫線事業計画神田地区高架橋新設(長さ1.3km・高さ24m)反対の陳情」について審査しました。執行機関から区内JR駅の今後のまちづくりへの取り組みやJRとの交渉窓口はまちづくり推進部が行うとの報告を受けました。論議の結果、今後も執行機関に対し、まちづくりとしての幅広い議論ができるよう資料を工夫すること、情報提供を求めることを確認し、引き続き論議することになりました。

その他、「秋葉原付近地区まちづくり推進協議会の報告案」と「淡路町二丁目市街地再開発事業」の現況について報告を受けました。

【次世代育成支援特別委員会】

当委員会に送付された「子ども医療費助成制度の対象年齢を小・中学生まで拡充を実現するための陳情書」を審査しました。これらの施策に関し、さらに東京都の動向を見守る必要があるとの意見等があり、継続して審査することになりました。

また、区は、10月から西神田児童・家庭支援センター内に「チャイルド・ケア・プランナー」2名を配置し、子どもや子育て中の親

に対し、区や、民間事業者が提供しているサービスのなかから、当事者のニーズに合ったプランを作成する子育て支援の総合的な相談窓口を設置するとの報告がありました。

質疑の中で、区独自の施策であり、他の自治体にはほとんど例がないこと、また、区のファミリーソーシャルワーカーなどの専門性と、定期的な会議を開くなど情報交換する体制をとり、幅広く区民の方の相談に工夫をしていくことなどが明らかとなりました。

【中小企業支援対策特別委員会】

商工融資あっせん制度では、融資借受人の利子の一部を区が補助する利子補給率について、借受人の利子負担利率が預金利率を下回るという逆転現象が生じていることから、緊急避難的に本人負担利率の見直しをすること、また、年末特別資金融資の実施について、従来の利子補給率・本人負担利率を改定し実施するとの報告を担当課長から受けました。

なお、来年4月に向けた制度融資全体の見直しについては①名目利率の設定や、名目利率に対する区の利子補給率をどのように設定するか②区民と一般の方の利子補給のあり方③各資金の整理統合の必要性があるのではないかなどの課題を検討・論議していくことを確認しました。

【新庁舎特別委員会】

新庁舎内に設置される防災拠点としての「防災センター」の機能について、担当課長から報告を受けた後、災害発生時における機器操作や電話応対、情報収集・伝達、情報ボランティアなどについて意見交換を行いました。その中で、防災行政無線が聞き取りにくいこと、情報の収集・提供方法などについては今後も検討を続けていくことにしました。

また、新庁舎の和みの空間に飾る創作和紙アートのタピストリーの作成には、各小学校の児童や公募による区民など650人が参加し、その実施状況の映像や、図書館等、交流と出

会いの空間演出について報告がありました。

【広報広聴特別委員会】

ユニバーサルデザインに基づく区議会Webサイトのリニューアルに基づき区議会これまでワーキンググループで検討を重ねてきました。委員会での内容について、区民にとっての「使い勝手」や「利用しやすさ」という観点から論議・検証を行いました。区議会だよりについても、レイアウトや色使いを工夫する等、親しみやすい紙面づくりについて論議し、今後も検討していくことにしました。

【予算・決算特別委員会】

予算決算特別委員会は、9月28日の本会議において議員全員で構成する委員会として設置されました。

始めに補正予算について審査しました。「平成18年度千代田区一般会計補正予算第2号」は「学校施設等の耐震補強設計・工事に要する経費」として4,250万円、「新庁舎全庁LANの構築」として1億7,400万円の債務負担行為を定めるものです。質疑に入り、委員から補正予算は「緊急を要する経費」として計上されるものだが、今回の計上した理由は何かとの意見がありました。執行機関からは、平成7、8年度の耐震診断で問題のあった施設は工事を実施し、現在の学校施設の安全性は担保している。しかし、本年6月に文部科学省より学校施設の耐震化を強力に推進するよう指導があり、子どもの安心安全確保のため、従来の方針より

平成17年度 千代田区各会計歳入歳出決算額

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差額
一般会計	45,488,527,920	42,873,575,535	2,614,952,385
国民健康保険事業会計	3,603,077,144	3,459,905,111	143,172,033
老人保健特別会計	4,011,384,292	3,976,290,290	35,094,002
介護保険特別会計	2,867,136,802	2,758,911,374	108,225,428
合計	55,970,126,158	53,068,682,310	2,901,443,848

早めに補強工事をするためとの説明がありました。「新庁舎全庁LANの構築」は、システム開発に統一性を欠いていた。新庁舎の開設に向けて情報基盤の整備及び各システムの整備に万全の体制で望むとのことでした。

「平成18年度千代田区国民健康保険事業会計補正予算第1号」は、国民健康保険の制度改正の対応に協同事業拠出金1億4,718万4千円を計上するものです。

採決の結果、以上の2議案は全員一致で可決する事を決定しました。

次に「平成17年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、企画総務、保健福祉文教、区民生活環境の3つの分科会を設置し、適正な支出が行われたかについて調査しました。さらに、これまで以上に区民の目線に立ち、多様化するニーズに対応しているか、また、主要施策は、十分な成果があげられているかを中心に論議しました。

主な質疑は

○(仮称)障害者福祉センターの整備について

○幼稚園・保育園の常勤・非常勤職員について

○富士見子ども施設に見られるPFI事業について

○特定高齢者向け地域支援事業について

○地下鉄・地下道の防災について

○千代田子ども読書活動推進計画の策定について

○災害要援護者の救援・救護体制について

○事務事業評価について

○景観地区の指定について、などです。

5日間にわたる質疑、総括を終え、賛成・反対の立場からそれぞれ意見発表を行った後、採決に入り「平成17年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」の議案は、賛成多数で認定する事を決定しました。

【討論】

賛成の意見

国と地方の役割分担で、区に求められるものは大きい。地域特性に応じ、本区がいかにポテンシャルや独自性を高めた区政運営をしているかとの視点で決算調査に臨んだ。その結果、江戸天下祭や大学連携など、本区の特

性を十分生かし区民ニーズに対応している事業の決算と理解し賛成する。(高山)

決算調査の中で「区としての民間開放の指針」が必要なきが確認された。今後は施設の民営化もしくは指定管理者への移行の検討に際しては、「指針の策定」をもって議論ができるよう強く要望し賛成する。(大串)

平成17年度予算は、第2次推進プログラム及び第2次行財政構造改革推進大綱の初年度であるが、着実な予算化を図り、区民の目線に立ち多様な区民ニーズに対応できると理解する。今後は、三位一体の改革による特別区民税の減収など本区の財政運営は極めて厳しいが、行財政運営の簡素化、効率化に取り組み、質の高い行政サービスを継続的かつ安定的に提供することを要望し賛成する。(松本)

反対の意見

官が行うべき「必需サービス」と民で行うべき「選択的サービス」の考え方・民間開放の方針が定まらない中で進むのは問題。必要な職員が配置されていない現場は危険な状況すらある。江戸天下祭などのイベント、有料トイレの設置、これらは広く区民の意見を聞く必要があり問題も多いと認識し決算に反対する。(小林た)

5年連続、保育士の採用がゼロなど区民サービスよりも人件費削減を優先させた決算となっている。さらには、生活保護世帯への見舞金廃止や8事業に新たに利用者負担が導入されるなど、低所得世帯への負担を増やした決算となっていることなど、全体として区民福祉の向上には結びつかないと認識し決算に反対する。(木村)



いずみこども園

今定例区議会で可決した意見書等

貸金業制度の見直しを求める意見書(10/17可決)

平成15年7月、ヤミ金融対策法(貸金業規制法及び出資法の一部を改正する法律)が成立し、その附則の中で、政府は法律の施行後3年を目途に適切な利率規制のあり方等貸金業制度の見直しを行うものと定められました。

深刻化する多重債務者問題の原因は、ひとつに、いわゆる「グレーゾーン金利」による債務者の重い返済負担の問題があります。最高裁判所においても、この「みなし弁済」の規定の適用を厳格に解釈し、グレーゾーン金利を否定し、債務者救済を図る判決を相次いで示しています。

こうした中、9月15日、自由民主党は、グレーゾーン金利の廃止や規制強化を内容とする貸金業規制法の改正案をとりまとめました。

改正案は、公布から1年以内に施行し、施行から3年以内に出資法の上限金利を年29.2%から利息制限法の上限金利の年20%まで引き下げ、2つの上限金利の間にある「グレーゾーン」金利を廃止することとし、加えて、政府に多重債務者に取り組み対策本部を設置することを盛り込むなど、一定の解決に向けた努力がなされています。

しかしながら、国民の不安が完全に払拭されたとは言えず、多重債務問題の解決に向け、消費者保護の観点から、早急に取り組み必要があります。

よって、千代田区議会は、国会及び政府に対し、左記事項を早急に実施するよう、強く要望するものです。

記

- 1 出資法第5条の上限金利を、少額短期貸付等の例外を設けることなく一律に現行の利息制限法の制限金利まで引き下げること。
2 貸金業規制法第43条のいわゆる「みなし弁済」規定を撤廃すること。
3 出資法における日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること。
4 保証料名目での出資法及び利息制限法の脱法を禁止すること。
以上、地方自治法第99条の規定に基づき、

意見書を提出します。(全文)

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・法務大臣・金融担当大臣に提出)

B・C型ウイルス肝炎総合的対策の推進に関する意見書(10/17可決)

わが国に数百万人の単位で存在するB・C型ウイルス肝炎患者・感染者は、その感染原因の大半が輸血、血液製剤の投与、予防接種時の針の不交換など医療行為による医療性によるものであることが明らかになっています。

特に、C型ウイルス肝炎は、他の慢性疾患や悪性腫瘍とは異なり、早期発見・早期治療によりウイルスを排除できれば、慢性肝炎、肝硬変、肝がんへの進行を防ぐ、また、治療も可能な疾患です。

国は、ウイルス性肝炎健診を行なう体制の整備をするなど、総合的な対策に取り組んでいますが、さらに、新たな患者発生に根絶に向けての取り組みと同時に、ウイルス性肝炎患者・感染者の救済、支援等を継続的に進める必要があると考えます。

よって、千代田区議会は、国会及び政府に対し、ウイルス性肝炎対策の一層の推進を図るため、左記の事項を実現するよう強く要望するものです。

記

- 1 救済の実現の長期化は、ウイルス性肝炎患者・感染者に大きな負担が強いられることから、国はできるだけ、裁判の早期の解決を図ること。
2 ウイルス性肝炎の予防、治療向上に資する調査、研究を継続すること。
3 ウイルス性肝炎患者・感染者の日常生活における差別や偏見をなくすため、さらに正しい知識の普及、啓発を行なうこと。
以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。(全文)
(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・厚生労働大臣に提出)

可決されたその他の意見書等

- ・米政府が実施した臨界前核実験に対する抗議
・米政府が実施した臨界前核実験に抗議し、今後の実施中止を求める意見書
・北朝鮮が実施した核実験を非難する決議

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

委員会視察の概要

企画総務委員会(7月10日、13日)

当委員会では、公共交通を活用した人と環境にやさしいまちづくりや地域独自の資源を活用した観光施策について調査しました。

松山市は、公共車両優先システムやICバスカードの導入、ノンステップバス、ハイグレードバス停の整備など、「人・まち・環境にやさしい」バス交通を活用したまちづくりを進めています。

高知市は、路面電車への超低床式車両の導入やパークアンドライドの推進により、公共交通機関と自動車交通の使い分けによる交通の円滑化や環境負荷の軽減など、誰もが利用しやすい環境にもやさしい公共交通システムの整備を進めています。

愛媛県内子町は、歴史的な町並み、農村の環境や文化、そして交流農業など独自の資源や条件を掘り起こした「新しい交流型観光」を目指した「うちこツアーリズム」を展開しています。

また、四万十市は「四万十川」の豊かな自然や景観を生かして、カヌー、キャンプ、川遊びなどの自然体験型観光等さまざまな取り組みを進めています。

当委員会では、これら特色ある取り組みの調査結果を今後の論議の参考にしていきます。



内子町役場内子分庁

視察先	調査項目
松山市	公共交通を活用した人にやさしいまちづくり(ICバス)
高知市	公共交通を活用した人にやさしいまちづくり(「LRT」の導入)ほか)
内子町	新しい交流型観光の取り組み「うちこツアーリズム」について
四万十市	観光まちづくりについて

保健福祉文教委員会(7月11日、14日)

小樽市は、本年4月から老人福祉・障害者支援施設などに、子育て支援施設を加えた総合的な地域福祉施設を運営しています。当委員会では、新たな保健福祉総合計画の策定にあたり、本区のさまざまな福祉サービスのあり方の参考とするため、地域での総合的な福祉施設の取り組みを調査しました。

札幌市は、利用者である子どもたちの意見を取り入れた「屯田北児童館」等、子どもの視点に立った施策を推進しています。当委員会では、千代田区の明日を担う子どもたちの健全育成の観点から、この取り組みについて調査しました。

三笠市は、構造改革特区認定を受け、平成17年度から、小中一貫教育を実践しています。当委員会では、少子化が進む中で小・中学校のあり方等の参考とするため、小中一貫教育の運営状況等を調査しました。

函館市「中央図書館」は、民間活用により設計・設立準備を行い、本年度開館した情報・文化施設です。

当委員会は、本区に平成19年度に導入される図書館の指定管理者制度について、民間事業者の図書館業務の具体的な運営などを調査しました。



函館市中央図書館

視察先	調査項目
小樽市	総合福祉センターの運営状況について
札幌市	①子どもの居場所づくりについて ②屯田北児童館の取り組み状況について
三笠市	小中一貫校の運営状況等について
函館市	図書館の民間活用等について

区民生活環境委員会(7月3日、6日)

福岡市は、既に、プラスチックごみ等を焼却した熱を利用するサーマルリサイクルを実施しています。また、平成17年10月から、家庭ゴミの有料化を始めています。一方、23区では、平成18年度から廃プラスチック等のモデル収集を開始し、平成20年度からサーマルリサイクルを本格実施する予定です。そこで、先行実施している同市を訪問しサーマルリサイクルを始めとしたゴミの状況について調査しました。

北九州市は、古い街並みや歴史的な建物を利用した「門司港レトロ」として都市型観光を手段とした「まちの活性化」を目指しています。区内にも、赤レンガの東京駅や旧万世橋駅等の歴史的建造物があり、これらを活用する施策の参考にするため調査しました。

さらに、文化・商業・オフィスの複合施設として、「リバーウォーク北九州」がオープンしており、現状を併せて調査しました。

今後は、これらの調査内容を踏まえて、当委員会の論議の参考としていきます。



グリーンパーク・臨海

視察先	調査項目
福岡市	プラスチックゴミの処理及びゴミ有料化について(清掃工場現地調査等)
北九州市	①商業的複合施設について(リバーウォーク北九州) ②歴史ある建造物を利用した観光施策について(門司港レトロ地区) ③ゴミ有料化について(資料収集)

平成18年 第3回定例区議会公会期日程

月/日	本会議・委員会関係 (公期26日間)
9/22	議会運営委員会 本会議(会期の決定、区長招集あいさつ、議案の議決等) 議員勉強会「清掃工場運営のための新会社設立について」
25	議会運営委員会
27	議会運営委員会 本会議(代表質問、一般質問)
28	議会運営委員会 本会議(一般質問、議案の付託、予算・決算特別委員会の設置等)
29	企画総務委員会 保健福祉文教委員会 区民生活環境委員会 議会運営委員会 本会議(議案の議決等)
10/2	予算・決算特別委員会(補正予算分科会)
3/4	予算・決算特別委員会(分科会)
5	新庁舎特別委員会 次世代育成支援特別委員会 中小企業支援対策特別委員会
6	広報広聴特別委員会 まちづくり特別委員会 観光施策推進特別委員会
10	議会運営委員会 本会議(議案の議決等)
11/12	予算・決算特別委員会(総括)
13	企画総務委員会 保健福祉文教委員会 区民生活環境委員会 議会運営委員会
16	議会運営委員会 保健福祉文教委員会
17	議会運営委員会 本会議(議案の議決等)

※各委員会では、議案の審査や担当する事項の調査、請願・陳情の審査等を行っています。

区民集会(9/11)

これまで区議会と連合町会が中心となつて、地域の課題について連携・協働して取り組む「区民集会」を開催してきました。今回は、本区で大きな課題となっている「マンション居住者と地域との共生」をテーマとして、区内のマンション管理組合で組織する「千代田マンション管理交流会」の方々と区議会及び各連合町会長が、マンション居

メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

○委員会に付託した請願

請 願 名	付託委員会	結 果
後楽園・東京ドーム競輪復活反対請願	区民生活環境委員会	継 続 審 査

○委員会に送付した陳情（平成18年6月24日から10月17日）

陳 情 名	送付委員会（）内は参考送付
患者さんの生命と健康を守るために、安全・安心の医療と看護の実現につながる看護師等の増員を求める陳情書	(保健福祉文教委員会)
上限金利の引き下げ等により、中小零細事業者・消費者等の健全な生活を守り、多重債務問題を根絶するため、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める陳情	議 会 運 営 委 員 会
「肝炎問題の早期全面解決とウイルス性肝炎患者の早期救済を求める意見書」の提出を求める陳情書	(保健福祉文教委員会)
医療機関によるカルテ廃棄の阻止に向けた働きかけに関する陳情書	(保健福祉文教委員会)
出資法の上限金利引き下げに関する陳情	議 会 運 営 委 員 会
東京通信病院の産科存続を求める陳情書	保健福祉文教委員会

住者の住民意識や現状についての話を聞き、意見交換を行いました。

その中で「千代田マンション管理交流会」では、町会の必要性を強く感じており、各マンション居住者へ町会との共生の働きかけをしていることがわかりました。また、町会においても、災害時など協力しあえる地域づくりには町会が門戸を広げており、お互いに共生していく考えであることを認識しました。

また、町会のお知らせを掲示するため、マンション内掲示板の利用承諾を得るなど、働きかけが必要であるという意見などが出ました。



◇ 議案の審議結果など(平成18年第3回定例区議会) ◇

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席

議 案 名 等	出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日
						林 則 行	嶋 崎 秀 彦	河 合 良 郎	松 本 佳 子	桜 井 た だ し	市 川 宗 隆	小 山 み つ 子	小 林 や す お	久 門 治 人	高 山 は じ め	荻 原 秀 夫	大 串 ひ る ず	山 田 な が ひ で	寺 沢 文 子	小 林 た か や	小 枝 す み 子	戸 張 孝 次 郎	鳥 海 隆 弘	石 渡 伸 幸	満 旭 昭 一	中 村 つ ね お	竹 田 靖 子	飯 島 和 子	木 村 正 明	鈴 木 栄 一	
天皇皇后両陛下ならびに秋篠宮同妃両殿下に捧げる賀詞	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	9/22
米国政府が実施した臨界前核実験に対する抗議	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	9/22
米国政府が実施した臨界前核実験に抗議し、今後の実験中止を求める意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	9/22
北朝鮮が実施した核実験を非難する決議	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
貸金業制度の見直しを求める意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/17
B・C型ウイルス肝炎総合的対策の推進に関する意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/17
平成18年度千代田区一般会計補正予算第2号	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
平成18年度千代田区国民健康保険事業会計補正予算第1号	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
平成17年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について	25	24	16	8	可	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	-	○	○	○	○	○	×	×	×	10/17
職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
千代田区議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
千代田区の行政委員会委員並びに非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
千代田区長及び助役の給与及び旅費条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
千代田区教育委員会教育長の給与及び旅費並びに勤務に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
千代田区長等の地域手当及び退職手当の特例に関する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
千代田区民保養施設条例	25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	10/10
千代田区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	9/29
千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	25	24	16	8	可	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	-	○	○	○	○	○	×	×	×	9/29
千代田区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
千代田区立図書館条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	10/10
高所カメラシステムの購入について	25	24	20	4	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	×	10/10
千代田区立九段生涯学習館条例	25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	10/10
千代田区立スポーツセンター条例	25	24	21	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	×	10/10
千代田区立図書館の指定管理者の指定について	25	24	17	7	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	-	○	○	○	○	○	×	×	×	10/10
損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について【報告2件】																											9/28				
有楽町・銀座地区地下歩行者道路等整備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について【報告】																											9/28				

※ 千代田区議会議員 上限数26名 条例定数25名 現員数25名
 ※ 議長は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。(議長 議席番号17番 戸張孝次郎)



メールアドレス kugikai@city.chiyoda.lg.jp

ホームページアドレス <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

6月～9月の主な活動

日 程	
6/28	国外都市行政調査団会議
7/3	区民生活環境委員会行政視察(福岡市、北九州市) <7月3日～7月6日まで>
4	政務調査研究費交付額等審査会
7	広報広聴特別委員会 国外都市行政調査団会議
10	企画総務委員会行政視察(松山市、内子町他) <7月10日～7月13日まで>
11	保健福祉文教委員会行政視察(小樽市、札幌市他) <7月11日～7月14日まで>
14	議会活動条件整備等検討会ワーキンググループ
18	区民生活環境委員会
19	区議会Webサイトリニューアル作業グループ 国外都市行政調査団会議
20	企画総務委員会
21	中小企業支援対策特別委員会
26	千代田区平和使節団議員派遣(沖縄・林則行議員) <7月26日～7月29日まで>
28	国外都市行政調査団会議
8/4	議会活動条件整備等検討会ワーキンググループ
5	千代田区平和使節団議員派遣(広島・小山みつ子議員) <8月5日～8月7日まで>
25	区民生活環境委員会 議会運営委員会 国外都市行政調査団会議
31	区議会Webサイトリニューアル作業グループ 企画総務委員会 保健福祉文教委員会
9/11	議会運営委員会 区民集会運営協議会 区民集会
12	区議会Webサイトリニューアル作業グループ 企画総務委員会
14	広報広聴特別委員会 保健福祉文教委員会 区民生活環境委員会 議会活動条件整備等検討会ワーキンググループ
15	議会運営委員会 千代田区観光施策推進講演会 <平成18年第3回定例区議会告示>
20	議員勉強会「後期高齢者医療広域連合について」
21	議会運営委員会

祝賀

天皇皇后両陛下に捧げる賀詞

皇位継承資格をもたれる悠仁親王殿下の御誕生を心からお祝い申し上げます。
このたびの慶事は、皇居が位置する千代田区民にとりまして、まことに慶賀にたえないところでもあります。
ここに、千代田区議会は区民とともに、天皇皇后両陛下の御健勝と、悠仁親王殿下のお健やかな御成長、並びに御繁栄をお祈り申し上げます、謹んでお祝い申し上げます。

平成18年9月22日
千代田区議会議長 戸張孝次郎

秋篠宮同妃両殿下に捧げる賀詞

皇位継承資格をもたれる悠仁親王殿下の御誕生を心からお祝い申し上げます。
このたびの慶事は、皇居が位置する千代田区民にとりまして、まことに慶賀にたえないところでもあります。
ここに、千代田区議会は区民とともに、秋篠宮同妃両殿下の御健勝と、悠仁親王殿下のお健やかな御成長をお祈り申し上げます、謹んでお祝い申し上げます。

平成18年9月22日
千代田区議会議長 戸張孝次郎

アンケート結果について

前号で、区政に関するアンケートを募集した結果23通の返信がありました。ご協力ありがとうございました。その集計結果とご提案の一部について要旨を紹介いたします。

- 介護・高齢者施策に関するご提案
 - 区内に自立型と介護型併設の高齢者ホームを何カ所か整備して欲しい。
 - 学校教育の充実に関するご提案
 - 人間教育はすべての基本と考えている。教育にやりすぎという事はないので、将来に向けて力を注いで欲しい。
 - 商工振興に関するご提案
 - 普段の買い物が不便なので近所の商店がより活性化する施策を考えて欲しい。
 - まちづくり施策に関するご提案
 - 家賃が高くいつまで住み続けられるか不安である。区民住宅を増やすか、子育て世帯の家賃補助をして欲しい。
 - 高層ビル建設を認める地区と認めない地区を分けて美しい町並みを整備して欲しい。
 - 環境・ごみ施策
 - 緑化をさらに推進し安全で美しい町を実現してほしい。路上禁煙に加えて人が集まる施設内でも禁煙を徹底して欲しい。

区議会Webサイトを一新（10月20日）

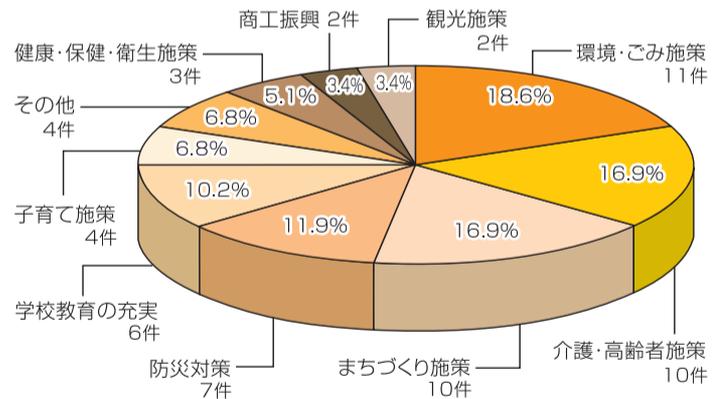
一層の使い安さを向上するため、リニューアルしました。主な内容は①基本構造(フレーム形式)を変更②検索機能の強化③「会議録検索システム」の単語検索を容易に④区の「例規集」サイト(条例等検索)に容易に移動⑤直接書き込めて印刷できる請願・陳情・要望書フォームを用意、などです。その他にもアクセスする利用者の個人情報保護し、安心して利用できるようにプライバシーポリシーを策定しました。ぜひ一度ご覧ください。



URL <http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp>

今後の区政に力をいれて欲しい分野

(アンケート結果・複数回答あり)



・路上の歩きたばこが禁止になり、子どもの遊び場である公園で喫煙する人が増えたので、憩いの場の公園も禁煙にして欲しい。
※なお、ご提案は、関係する各課に伝えてあります。

真に区民が必要としている情報とは何か考え、区議会だよりとWebサイトを通してわかりやすく提供してまいります。
(大串)

アンケートを募集した結果、数々のご提言やご要望を頂きました。メール等では、随時ご意見やご提案を受け付けています。
(小林)

是非、リニューアルした区議会Webサイトをご覧になってください。誰にとっても使いやすく、見やすくなっています。
(嶋崎)

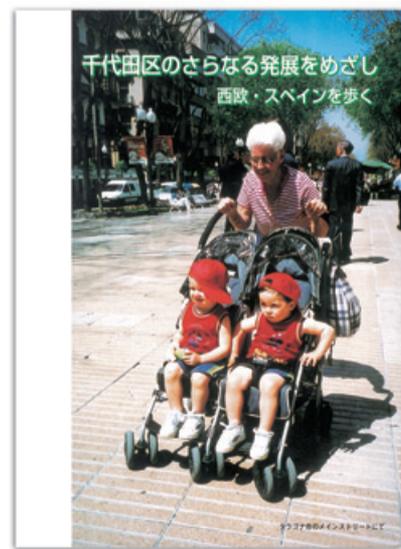
区議会Webサイトが新しくなりました。ユニークな社会到来に向けて、さらに充実した内容でお届けしてまいります。
(河合)

区議会アンケートに子育て、介護、教育現場等に関する生の声がありありがとうございます。皆で受けとめて活かしてまいります。
(小枝)

日々めまぐるしく情報が行きかう時代、現行の区議会だよりの「使命」は、区民にとって何なのか考えています。
(竹田)

このだよりが届く頃は第4回定例会も間近で、カレンダーもあとわずか。反省はあっても悔いのない全力疾走の1年と自ら評価。
(飯島)

編集後記



千代田区のさらなる発展を目指し
国外都市行政調査団報告書が出来
上がりました。